

災害対策・危機管理での衛星通信利用

坂戸美朝*
尾崎 裕**
今井 徹**

Satellite Communications for Disaster Prevention and Crisis Management

Yoshitomo Sakato, Yutaka Ozaki, Tooru Imai

要 旨

安全・安心な社会に対する社会的要請は近年さらに高まっており、相次ぐ地震、台風、津波などの災害対策や、事故や犯罪等の種々の危機管理への的確な対応が求められている。安全・安心の確保に向けては、IT新改革戦略や第3期科学技術基本計画において、情報通信技術の活用やその研究開発の推進が重要な政策課題として掲げられている。災害対策・危機管理の分野では、迅速かつ確に情報を収集・整理し、情報通信基盤を通じて住民や関係機関に伝達することによって、被害や事故の件数の軽減や質的な改善が実現することが見込まれ、情報通信技術が国民の被害を

適切に回避するための大きな役割を果たすことが期待されている。

とりわけ、衛星通信は広域性、同報性、耐災害性及び柔軟で容易な回線設定にその特徴があり、すでに多くの分野で活用されており、その有効性も広く確認されている。

本稿では、安全・安心な社会を実現するための災害対策・危機管理用システムで利用されている衛星通信分野での三菱電機の取り組みの一端を述べるとともに、今後の発展について概観する。



災害対策・危機管理での衛星通信の利用イメージ

衛星通信は広域性、同報性、耐災害性及び柔軟で容易な回線設定にその特長があり、災害対策・危機管理用システムにおいては、すでに多く利用実績があり、今後ともその発展と利用拡大が期待されている。